



住民協議会だより

# おのえ

第13号

おのえ住民協議会 (小野江町396番地 TEL 0598-56-7506) 2016.9.1

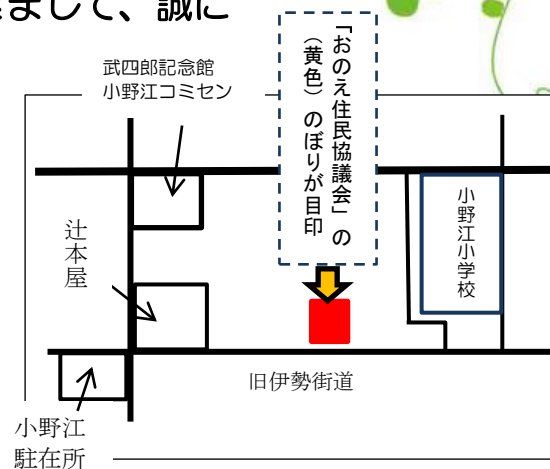
## “おのえ住民協議会”事務局移転のお知らせ

平素は、おのえ住民協議会の活動にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。去る、6月2日に事務局を下記の場所に移転いたしました。

今後とも引き続き、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

気軽に、お立ち寄りください。お待ちしております。

〒515-2109  
大阪市小野江町396 TEL56-7506  
(月~土曜 午前9時から12時)



## おのえきずなまつり

とき：9月18日(日) 午前9:30~正午終了予定

ところ：小野江小学校体育館

内容：琴『子ども琴講座』と『桐の花』  
コーラス『みんなでコーラス』  
ダンス『キッズヒップホップ』  
太鼓『響座いなせ組』(松阪市内で活動中の和太鼓チーム)

※詳しくは、「広報まつさか」9月号とともに配布のチラシも参考にしてください。

申込み：下記のいずれかのおのえ住民協議会委員まで、お申し込みください。

小野江コミュニティセンター・各地区自治会・小野江地区福祉会・長寿会・  
小野江小学校PTA・三雲北幼稚園PTA・三雲北保育園PTA・おのえ住民協議会

※切り 9月10日(土)



## “家庭菜園”始めてみませんか

育ててみたい方を募集します!

あなたのお家の庭の空きスペースに、野菜を植えてみませんか?

庭がなくても玄関先やベランダで、プランターやバケツを置いて育ててみませんか?

おのえ住民協議会が苗を提供します。今回は、『ブロッコリーの苗』です。

【申込み期間】平成28年 9月1日~ 9月10日 (1世帯 5本以内)

上記に記載の住民協議会事務局まで、ご連絡ください。

※詳しくは、「広報まつさか」9月号とともに配布のチラシをみてください。



## おのえ健康ウォーキング



とき：9月25日(日) 雨天の場合は10月2日(日)

集合：午前8時30分 小野江コミュニティセンター

コース：『おのえウォーキングマップ』のコースの一部を歩きます!

小野江コミュニティセンター(8:45出発) → 雲出川常夜灯 →

旧伊勢街道近くの社寺等をめぐる約4kmのコース → 小野江コミセン解散

参加費：一人100円〔当日集めます。〕

(11:00)

申込期間：9月1日(木)~9月15日(木)

申込み先：小野江コミセンまたはおのえ住民協議会事務局〔小野江町396 TEL56-7506<午前のみ>〕に置いた申込書にご記入ください。

## 第10回小野江地区ふれあいフェスタ開催!

とき：10月9日(日) 午前9時30分~午後1時40分

ところ：小野江小学校 運動場・体育館 ※雨天時は体育館

主催：小野江地区ふれあいフェスタ実行委員会

☆詳しくは、9・10月の「小野江コミセンだより」をご覧ください。

## ボランティアスタッフ募集!

ふれあいフェスタの企画運営や準備、当日のお手伝いをしてくださる方を募集します。

ご協力いただける方は、下記までご連絡ください。

小野江コミュニティセンター(56-6847)まで



## 減災訓練 今年もやります!

とき：10月15日(土) 午前8:40~

ところ：小野江コミュニティセンター北広場  
(小野江小学校南駐車場)

内容：◎応急手当法(止血・骨折)

◎搬送(タンカ・車イス・リヤカー)

◎家具固定と設置方法

◎炊き出し訓練 ◎マンホールトイレ設置訓練(13:00~)

申込み：各地区自治会・小野江地区福祉会・長寿会・小野江小学校PTA・

三雲北幼稚園PTA・三雲北保育園PTA・おのえ住民協議会

以上のいずれかの各諸団体へ、重複しないようお申し込みください。

※参加景品等、準備のための員数確認です。当日参加も可能です!

「広報まつさか」10月号とともに配布予定のチラシも参考にしてください。





## “たなばたまつり” (7/7)

七夕。例年は雨の心配ですが、今年は暑くてたまりませんでした。あまりにも暑い  
ため、昼間の準備作業を中止して、午後3時から再開。風に生暖かさがなくなるころ  
準備完了。

地域の子もたちの願いを込めた手作りの「おねがい machi ちょうちん」と天の川  
の下を通っていくと、鮮やかなLEDが美しく境内を照らしています。電飾のついた笹  
竹とカップローソクの光の中で、大正琴の懐かしい音色が響き渡ったところに、市長が  
来ていただき、挨拶をしていただきました。また、陽が沈みかけたころ、フラダンス  
も始まりました。

今年から地元産のとれたて野菜の直売所を『軽トラック市』として、開催しました。  
子どもたちが集まりおもちゃのつかみどり、お遊びコーナーに興じております。  
地元産焼きトウモロコシの人気は高く、予定していた300本は1時間ほどで完売し、  
綿菓子も2台体制で臨みましたが、行列が8時の終了時間まで続きました。

延べ人数で1,500人ほど、今年も多くの方にご来場いただきありがとうございました。  
また来年、七夕で～！  
【地域元気健康福祉部会 部会長 伊藤 俊】



## “おねがいMachiちょうちん”

とも  
灯りました！



公民館講座『たなばたまつりをたのしもう！』の  
“おねがいMachiちょうちん”が、まつりの会場に灯りました。



今年のおまつりは、自分たちで作った  
ちょうちんを、子どもと一緒に探したの  
が、イイ思い出になりました。

製作も時間があつという間で楽しか  
ったです。来年も参加したいです。

講座参加者 齋藤 あさ子さん

## 減災訓練指導者研修会

5月15日、6月19日の2日間、三雲分署の方から、  
応急手当についての講習を受けました。

そして、独自の訓練を7月3日、最高気温35度の中、  
指導者候補17名出席のもと実施しました。

昨年と同じ轍(てつ)を踏まないように、出席簿をつけ、  
それを横目で見ながら、どの人に活動や指導をお願いし  
ようかと、試行錯誤していました。

しかし、17名の皆さんが「始めます。」の声で一斉に  
動き出しました。そして、全員が指導員にってしまった  
ことに、喜びを感じました。

10月15日の減災訓練当日には、  
地域の皆さんの前で、その姿を  
きっと発揮してくれることでしょう。



## 減災コラム その2

### 『備えあれば、憂いなし』



行政または専門家の報道等によく出てくる内容に地震発生後3日、最近では7日程度の飲料水  
(食料)等の備えをよく見聞きする。しかし、本当にそうだろうか。これはマスコミが生き残っ  
た人にインタビューするからそういう答えになるのである。亡くなった人に聞くことができる  
ならば、そのような答えにならないはずだ。地震が起きたとき、どのような状態であるかが一番  
大事だと思う。生き残ってからのことではなく、**まず生き残ることを最優先に、備えな  
ければ、どのような物を準備しておいてもそれを利用することは出来ない。**

昭和56年5月以前の住宅は、大きな揺れには耐えられないかもしれない。該当する方は、市  
の防災担当部署に出向き、住宅耐震診断を申請して、受けられることをお勧めする。診断は無料  
です。詳しいことは、市役所安全防災課に問い合わせてください。

だが、いくら耐震補強しても自分たちが生活している場所の対策がなければ、普段便利に使用  
している物(家具、電化製品など)が、強い揺れと同時に凶器となって襲ってくるだろう。(阪神  
淡路地震、熊本地震で被害を受けた人の地震発生時の状況で、家具等が転倒散乱し、室外に  
出ることが出来なかった。)すぐにできる備えは**“家具等の固定”**である。経費をかけず道  
具部品等がなくてもできることは、**まず家具等の配置を考えてドアの近くには置か  
ない。ドアが開かなくなって、避難できなくなることがある。ドア等がガラスである場  
合は、飛散したガラスの上を素足で歩くことはできない。飛散防止フィルムを貼ると足  
元の負傷を軽減して行動することができる。**

また、**家具等を固定する場合は、壁にある柱、棧(さん)に確実に固定して  
強度を確認する。特に就寝する部屋には物を置かないほうがよい。寝ている  
ときは、どんな俊敏な人でも、行動不能になる。(人生の3分の1は、睡眠。)**

**本人及び家族が無事で始めて、地域の救助支援活動ができるのである。**  
地震だけに限らず、事故等でも家族を失えば、時間がいくら経とうとも復興はできない。

【おのえ住民協議会 安全推進委員 野崎 裕】